

第2回定例北見市教育委員会会議録  
(平成31年2月6日開催)



(平成31年第2回定例北見市教育委員会風景)

北見市教育委員会



平成 31 年第 2 回定例北見市教育委員会会議録

1. 日 時 平成 31 年 2 月 6 日 (水)  
開 会 午後 3 時 00 分  
閉 会 午後 4 時 01 分
2. 場 所 北見市端野総合支所 2 階 大会議室
3. 教 育 長 教育長 志 賀 亮 司  
出席委員 教育長職務代理者 浪 岡 康 二  
委 員 坂 口 廣 典  
委 員 那 須 美由紀  
委 員 堀 澤 美 貴
4. 出席職員 学校教育部長 伊 藤 智 則  
学校教育部次長 皆 川 毅  
社会教育部次長 塩 浜 浩 二  
指導室長 小 野 朋 之  
端野教育事務所長 森 谷 幹 生  
常呂教育事務所長 須 藤 勇 一  
留辺蘂教育事務所長 椎 名 一 美  
学校教育部主幹 深 瀬 憲 永  
指導室主幹 秋 山 康 則  
指導室主幹 尾 島 康 人  
総務課長 阿 部 実  
学校教育課長 宮 川 真 一  
学校給食課長 武 山 晃 己  
生涯学習課長 武 田 多 市  
スポーツ課長 三 上 剛  
文化財課長 平 田 喜代実  
北見市中央公民館長 水 野 慎 吾  
端野教育事務所生涯学習課長 加 藤 雅 明  
常呂教育事務所生涯学習課長 桑 島 直 樹  
留辺蘂教育事務所生涯学習課長 大 林 清 司

会議録作成者 大黒谷 朋 一

欠席職員 社会教育部長 佐々木 賢 一  
北見市立中央図書館長 佐 賀 高 広

5. 傍 聴 者 なし

6. 議 題 報告第1号 平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」  
の結果報告について  
議案第1号 北見市社会教育委員の委嘱について  
議案第2号 教育費予算案（2月補正）に同意することについて  
議案第3号 平成31年度教育費予算案に同意することについて

※議案第2号及び議案第3号については、議会の議決を要する案件のため、非公開で審議する。

## 平成 31 年第 2 回定例北見市教育委員会議事録

(平成 31 年 2 月 6 日開催)

教 育 長 「ただいまから、平成 31 年第 2 回定例北見市教育委員会を開会いたします。  
(志賀亮司)

はじめに、本日の会議録作成者に大黒谷総務係長を指名いたします。

次に、前回の委員会会議録に記載した事項に関して、特に発言がありましたらお願いいたします。」

委 員 「ありません。」

教 育 長 「なしとの発言でありますので、会議録は作成のとおり決定いたします。  
(志賀亮司)

次に、本日の会議録署名委員を指名いたします。署名委員には、浪岡委員、堀澤委員の両名を指名いたします。

次に、教育行政について報告を求めます。なお、説明、答弁については着席のままでの発言を許します。」

学校教育部長 (学校教育行政執行報告)  
(伊藤智則)

社会教育部長 (社会教育行政執行報告)  
(佐々木賢一)

教 育 長 「ただいま報告のありました教育行政に対し、ご質疑があれば発言  
(志賀亮司) 願います。ご質疑ございませんか。」

委 員 「1 ページの、1 月 11 日の北見工業大学・北見市教育委員会連携事業、  
(堀澤美貴) 理科実験研修どのようなものだったのかということと、今後もこの  
ような連携事業があるのかということをお伺いしたいです」

指導室主幹 「1 月 11 日の北見工業大学との連携事業につきましては、化学分野に  
(尾島康人) ついて実験を行い、また廃液処理の方法といった教師が授業に使える  
ものと、授業が終わった後の処理方法について、今回学びました。  
今後についてですが、夏、冬それぞれ研修会を続けていくよう考えて  
おります。

以上でございます。」

教育長  
(志賀亮司) 「ほかにご質疑ございませんか。」

委員 「ありません。」

教育長  
(志賀亮司) 「質疑が了しましたので、以上で教育行政についての報告を了します。  
次に、本日提案されております議案第2号、教育費予算案（2月補正）に同意することについて及び議案第3号、平成31年度教育費予算案に同意することについての議案2件については、いずれも議会の議決を要する案件でありますことから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書きにより、非公開で審議することといたしたいと思っております。これに、ご異議ございませんか。」

委員 「ありません。」

教育長  
(志賀亮司) 「ご異議なしと認めます。よって、議案第2号及び第3号は非公開で審議することに決しました。

それでは、本日提案されております議案の審議に入ります。

はじめに、報告第1号、平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果報告について報告願います。」

指導室主幹  
(尾島康人) 「それでは、報告第1号、平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について報告させていただきます。

まず、資料4ページをごらんください。小学校5年生は、8種目を実施し、男子は握力、ソフトボール投げの2種目においてT得点が全国平均を上回り、市内平均値では前年度に比べ2種目で上回る結果となりました。また、女子は握力、上体起こし、反復横とび、ソフトボール投げの4種目においてT得点が全国平均を上回り、市内平均値では前年度より6種目が上回る結果となりました。次の5ページには、上部に体力要素について前年度と比較した表を、下部には全国・北海道・北見市の種目別相関グラフを載せております。全国平均を超える種目がふえるなど、市の取り組みや学校での教育活動により一定の成果も見られておりますが、男女とも50メートル走に課題が見られる結果となりました。

次に、6ページをごらんください。中学校2年生は8種目、1校につきましては持久走を加えた9種目を実施し、男子は握力、50メートル走、立ち幅跳びの3種目においてT得点の全国平均を上回り、市内

平均値では前年度より 8 種目が上回る結果となりました。また、女子はハンドボール投げにおいて T 得点が全国平均と同様となり、市内平均値では前年度より 7 種目が上回る結果となりました。次の 7 ページには、上部には体力要素について前年度と比較した表を、下部には全国、北海道、北見市の種目別相関グラフを載せております。男女とも、前年度の市内平均値よりも向上する種目がふえるなど、成果は見られておりますが、男子は筋持久力や柔軟性、全身持久力、長距離走能力、女子は筋持久力や全身持久力、柔軟性、長距離走能力に課題が残る結果となっております。

今後も、これらの課題の改善に向けて、体力向上推進委員会との連携した研修会の実施や、調査を複数回行うなどの取り組みを通し、体力向上を一層推進してまいりたいと考えております。

以上であります。」

教 育 長 「ただいまの報告に対し、ご質疑があれば発言願います。ご質疑ござ  
(志賀亮司) いませんか。」

委 員 「資料 8 ページなのですけれども、体育の授業が楽しいとかやや楽し  
(浪岡康二) いと言っている子どもの割合が全国よりも高いという記述があります。きっと、授業力のある先生による工夫された授業というものがあってのことだろうと高く評価したいと思ひますし、今後もよろしくお願ひしたいと思うのが一点であります。

もう一点なのですけれども、登校方法について徒歩通学の割合が全国より低く、自家用車の割合、きっと保護者の方による車で送る率が高いということだと思ひのですが、全国と比較した数字があるのであれば後で教えていただきたいのと、雨の日など、私が住んでいる美山地区などでも校門の中に保護者が車で送っていて、渋滞になっているというようなことをよく見ます。本当に必要な子どももいて、例えば体調が悪いというようなことで送ってこられる様子もあるので一概には言えないと思ひのですが、それにしても渋滞になるぐらいの車の列があるというようなことで、やはり基本的には歩いて、体力をつけるという意味のあるのですけれども、歩いて登校という形が基本だと思ひます。学校また P T A の方になんらかの形でこういう状況だということをお知らせしていただきながら、少し改善されればいいなという思ひをいつも持っておりますので、是非その辺もよろしくお願ひしたいということです。

以上です。分かる部分があれば、感想でも結構ですので、指導室からお願いします。」

指導室長  
(小野朋之) 「ただいま浪岡委員よりご指摘いただいた、徒歩についての啓発についてでございますが、校長会等を通して体力向上の結果公表の際には、そのような声を結果公表の中に盛り込むような形でお話させていただきたいと考えているところであります。  
よろしく願いいたします。」

指導室主幹  
(尾島康人) 「ただいま浪岡委員より、自家用車の数値についてご質問をいただきましたのでお答えします。小学校の児童質問誌において、全国の自家用車の使用率が8パーセントに対して、北見市の自家用車での登校の使用率が31パーセント程となっております。  
以上でございます。」

委 員  
(坂口廣典) 「北見市が31パーセントということでお伺いしましたが、北海道のデータはあるのでしょうか。」

指導室主幹  
(尾島康人) 「北海道での自家用車の使用率は、男子が17パーセント、女子が23パーセント程度となっております。  
以上でございます。」

教 育 長  
(志賀亮司) 「ほかにご質疑ございませんか。」

委 員 「ありません。」

教 育 長  
(志賀亮司) 「なしとの発言ですので、報告を了します。  
次に、議案第1号、北見市社会教育委員の委嘱についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。」

生涯学習課長  
(武田多市) 「それでは、議案第1号、北見市社会教育委員の委嘱についてご説明させていただきます。議案書は2ページから3ページでございます。3ページをごらんください。

北見市社会教育委員につきましては、平成30年3月1日に開催されました第4回臨時北見市教育委員会で同意をいただき、委嘱させていただいておりますが、北見市体育協会が選出母体の藤田委員が交代され、その後任として推薦をいただきました増子晋也氏を、前任者の



残任期間であります平成32年3月4日まで委嘱いたしたく、教育委員会の同意を求めるものでございます。

以上でございます。」

教育長 (志賀亮司) 「説明が了しましたので、これより質疑に入ります。ご質疑があれば発言願います。」

委員 「ありません。」

教育長 (志賀亮司) 「質疑が了しましたので、お諮りいたします。議案第1号について、原案のとおり決することにご異議ございませんか。」

委員 「ありません。」

教育長 (志賀亮司) 「ご異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり決しました。次に、議案第2号及び議案第3号については、先ほど決しましたように非公開で審議することといたしますが、審議に入る前に、事務局よりその他の報告事項がございましたら発言願います。」

事務局 「ありません。」

教育長 (志賀亮司) 「なければ、議案第2号の審議に入ります。暫時休憩いたします。」

※ 議案第2号および議案第3号については、議会の議決を要する案件のため非公開で審議

教育長 (志賀亮司) 「以上で、本日付議された案件は、全て議了いたしました。これにて、平成31年第2回定例北見市教育委員会を閉会いたします。」